

(別紙4(2))

グループホーム木曾三川

### 目標達成計画

作成日: 令和 元 年 12 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の福祉委員のメンバーとして、地域の方との意見交換や勉強会を行ったり、小学校の運動会の参観、中学生の職場体験の受け入れなど地域との交流を持つようにはしているが、事業所の役割や活動内容等地域への情報発信ができていない。	ご利用者様が地域の中で安心して暮らしていただく上で絵も地域とのつながりは大切なものと考え、行事や活動状況などを地域の方々に発信し、より開かれた施設づくりを目指す。	地元の自治会へのご協力を仰ぎ、活動状況等を回覧板でまわしていただいたり、掲示板に貼らせていただく。	6ヶ月
2	26	毎月担当職員がモニタリングを実施しケア内容の振り返りをしている。職員間での話し合いや、医師、ご家族の意向を取り入れ状況に即した計画を作成しているが、来所が途絶えているご家族の意向確認が困難で、計画書に反映されていない。	計画書を作成するにあたってご家族の意向を取り入れることが重要と捉え、来所が途絶えているご家族にも連絡を入れ、ご家族の意向を取り入れた計画を作成する。	来所が途絶えているご家族は電話での連絡も困難なことが多いため、連絡を入れたことを支援経過記録に残す。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。